

(基本目標 3 安全と安心のまち)

政 策 (2)	機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク
---------	-----------------------

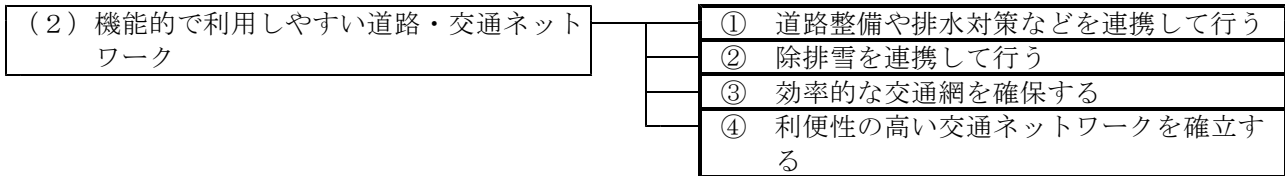
基本構想でめざす姿や状態

- 生活道路や歩道、排水路などの生活基盤が整っていて、安全で快適に暮らせること。
- 除排雪などに地域住民やボランティアなどの協力態勢が整っていて、季節を問わず安全に通行できること。
- 路線バスなどの交通手段が整っていて、快適に移動できること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標 (平成29年度)	備 考
道路の整備延長 (改良率)	55.9% (H19年度)	56.5%	57.0%	
道路の整備延長 (舗装率)	68.0% (H19年度)	69.5%	71.0%	
除排雪や清掃活動など、近所や自治会・町内会などで協力しあう体制が整っていると思う市民の割合	42.9% (H19年度)	48.0%	53.0%	市民意識調査
巡回バスの1便平均利用者数	14.1人 (H18年度)	16.0人	18.0人	

施策の体系



実施事業の概要

① 道路整備や排水対策などを連携して行う

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H22事業費 (当初予算)
		H22	H23	H24		
市民	地域の生活環境整備事業 市道等の維持補修を自治会・町内会等と協働で実施	実施 (新規)	実施	実施	地域住民との協働による取組を拡大	百万円 5.0
市民	側溝等改良事業 道路の拡幅及び側溝等の整備	排水1箇所	側溝・排水 7箇所程度	側溝・排水 7箇所程度	地域住民との協働による取組を拡大	2.6
	道路改良事業（能代地域） 能代地域の道路の拡幅及び側溝等の整備等	4路線 改良外	5路線程度 改良外	8路線程度 改良外	交付金制度を活用して実施	74.5
	道路改良事業（二ツ井地域） 二ツ井地域の道路の拡幅及び側溝等の整備等	7路線 改良外	7路線程度 改良外	7路線程度 改良外	交付金制度を活用して実施	94.7
	中川原橋架替事業 老朽化が進む中川原橋の架替及び畠町中川原線の拡幅	上部工	仮設道撤去 市道拡幅外 (終了)		23年度で終了	93.3
見直	中川原地区整備事業 中川原地区の生活環境を改善するための道路拡幅・新設等	実施	実施	実施	地域住民と協議しながら実施	226.9
見直	向能代地区整備事業 向能代地区の生活環境を改善するための道路拡幅・新設等	実施	実施	実施 (終了)	24年度で終了予定	156.2

② 除排雪を連携して行う

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H22事業費 (当初予算)
		H22	H23	H24		
市民	除排雪対策事業 道路の除雪及び防雪柵の設置・撤去等	実施	実施	実施	地域住民との協働による取組を拡大	百万円 69.4
	防雪柵設置事業 固定式防雪柵の設置	1路線測量 (新規)	1路線工事 1路線測量	1路線工事 1路線測量	22年度から新たに実施	2.3

③ 効率的な交通網を確保する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H22事業費 (当初予算)
		H22	H23	H24		
重点	地域公共交通活性化事業 路線バス等の調査・分析、地域公共交通のあり方の検討及び公共交通の利用促進活動等	計画策定	(事業推進)	(事業推進)	22年度に地域公共交通活性化基本計画を策定	百万円 3.3
見直	コミュニティバス運行事業 市街地巡回バス及び二ツ井地区コミュニティバス等の運行	運行 (見直し)	運行	運行	計画策定に合わせて見直しを検討	28.8
見直	地方バス路線等維持費補助事業 地域住民の生活に欠かせない路線バスの赤字路線に対する補助	補助 (見直し)	補助	補助	計画策定に合わせて見直しを検討	36.8
見直	向能代駅管理事業 能代西高の通学生徒等の安全を確保するため、向能代駅の管理を委託	管理	管理	管理	高校再編に合わせて見直しを検討	0.9

④ 利便性の高い交通ネットワークを確立する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H22事業費 (当初予算)
		H22	H23	H24		
見直	道路関係整備促進期成同盟会等活動事業 日本海沿岸東北自動車道をはじめ、関係市町村が国・県等に道路整備を働きかけする活動	実施	実施	実施	活動のあり方の見直しを検討	百万円 0.8
見直	秋田新幹線延伸等活動事業 秋田新幹線の延伸に関して国等へ働きかけする活動	実施	実施	実施	解散も含め活動のあり方を検討	—

(基本目標 3 安全と安心のまち)

政 策 (3)	効果的で調和のとれた土地利活用
---------	-----------------

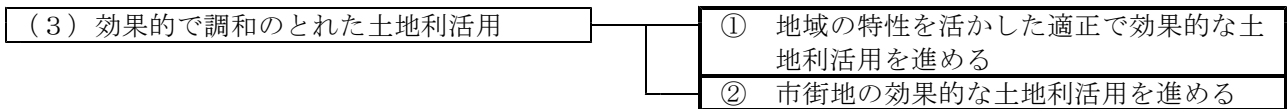
基本構想でめざす姿や状態

- それぞれの地域が持つ資源や特性、整備された生活基盤が活用され、この地域に合った良好な都市形成が進むこと。
- 定住人口や交流人口の確保により、中心市街地に活気があること。

基本計画でめざす目標指標

指 標	基 準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標 (平成29年度)	備 考
中心市街地活性化重点区域の空き店舗率	20.5% (H18年度)	20.5%	維持	

施策の体系



実施事業の概要

① 地域の特性を活かした適正で効果的な土地利活用を進める

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H22事業費 (当初予算)
		H22	H23	H24		
見直	用途地域変更事業 都市計画マスタープランの方針に沿った用途地域の見直し	策定準備 (新規)	策定 (終了)		23年度中に策定	百万円 2.1
	地籍調査事業 二ツ井地域の地籍測量等	計画面積 0.17km ²	計画面積 0.19km ²	計画面積 0.19km ²	全体計画の見直しを検討	6.0

② 市街地の効果的な土地利活用を進める

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H22事業費 (当初予算)
		H22	H23	H24		
重点 市民	中心市街地活性化推進事業 中心市街地活性化計画に基づき、事業を推進	実施 (拡充)	実施	実施	22年度から中心市街地活性化室を畠町大通りに設置	百万円 4.0
重点 市民	能代街なか元気再生事業 タウンマネジメント、市民プラザ、再開発調査、地域ニーズ情報サイトの各事業の実施	実施	実施 (終了)		ふるさと雇用再生臨時対策基金制度を活用して実施	31.5

政策(4)	快適で暮らしやすい住環境
-------	--------------

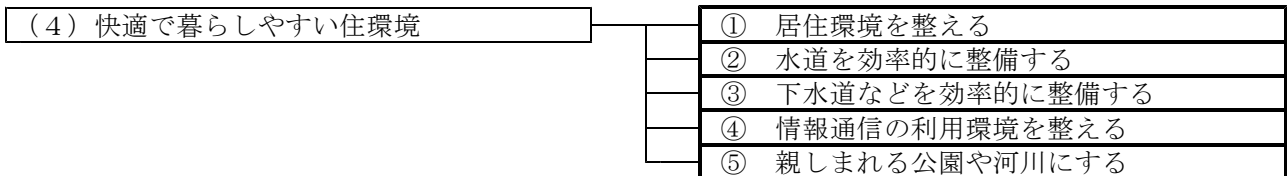
基本構想でめざす姿や状態

- 飲用水の確保や生活排水の処理などにより、衛生的で快適な生活環境になること。
- 情報通信技術を利用できる環境になること。
- 安らぎのある憩いの場として、公園や広場などを安心して利用できること。

基本計画でめざす目標指標

指標	基準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標 (平成29年度)	備考
水道普及率	85.6% (H17年度末)	86.0%	87.0%	
汚水処理人口普及率	57.7% (H18年度末)	67.6%	80.0%	
飲用水の確保や生活排水の処理など、衛生的な生活環境は維持されていると思う市民の割合	65.1% (H19年度)	69.0%	75.0%	市民意識調査
ブロードバンド世帯カバー率	98.9% (H19年度)	100.0%	100.0%	

施策の体系



実施事業の概要

① 居住環境を整える

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H22事業費 (当初予算)
		H22	H23	H24		
	耐震改修促進事業 昭和56年5月以前建築の木造戸建住宅の耐震診断及び耐震改修に対する補助	補助	補助	補助	継続して実施	百万円 14.6
	住宅リフォーム緊急支援補助事業 県で実施する住宅リフォーム緊急支援事業の上乗せ補助	補助 (新規)			22年度に実施	60.0
	市営住吉町住宅建替事業 老朽化が進む市営住吉町住宅の建替	建設工事等	建設工事等	入居者 移転等 (終了)	24年度で終了	74.4
	市営住宅耐震診断事業 既設市営住宅の耐震診断	1棟 (新規)	1棟	1棟	22年度から新たに実施	1.5
	市営住宅維持管理事業 市営住宅の維持管理	管理	管理	管理	継続して管理	28.9

② 水道を効率的に整備する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H22事業費 (当初予算)
		H22	H23	H24		
	管路近代化事業 上水道の老朽した铸铁管の更新	実施	実施	実施 (終了)	24年度で終了	百万円 196.9 (企業会計)
	上水道未普及地域解消事業 上水道整備区域の拡張	拡張工事 2地区 (終了)			第三期拡張事業は 22年度で終了	61.5 (企業会計)
	配水管等整備事業 上水道の配水管布設等水道施設の整備	実施	実施	実施	継続して実施	73.6 (企業会計)
重点	統合簡易水道事業 二ツ井・荷上場地区の水道施設の統合整備	実施設計等	導水施設 工事等	水源施設 工事等	23年度から着工	37.8 (特別会計)
	簡易水道及び小規模水道施設整備費等補助事業 民営の水道事業者が行う水道施設の改良事業等への補助	補助 (拡充)	補助	補助	22年度から補助対象基準額を緩和して実施	2.2

③ 下水道などを効率的に整備する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H22事業費 (当初予算)
		H22	H23	H24		
	公共下水道整備事業 公共下水道の整備	ポンプ場増改築 幹線・枝線工事等	ポンプ場増改築 幹線・枝線工事等	ポンプ場増改築 幹線・枝線工事等	24年度からの法適用による企業会計導入に向けて準備	百万円 978.3 (特別会計)
	終末処理場管理事業 終末処理場の管理	管理	管理	管理	継続して管理	200.3 (特別会計)
	浄化槽設置整備事業（個人設置型） 能代地域の浄化槽整備として、個人設置に対して市が助成	120基	120基程度	100基程度	継続して実施	55.2
	浄化槽設置整備事業（市町村設置型） 二ツ井地域等の浄化槽整備として、市が設置	70基	70基程度	140基程度 (拡充)	24年度から能代地域の一部も対象	62.5 (特別会計)
	農業集落排水事業 農業集落排水施設の管理	管理	管理	管理	継続して管理	5.6 (特別会計)

④ 情報通信の利用環境を整える

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H22事業費 (当初予算)
		H22	H23	H24		
	電子申請推進事業 行政手続きの電子申請の導入	実施 (新規)	実施	実施	22年度から新たに実施	百万円 0.7
	公共施設間ネットワーク構築事業 市の公共施設間を光回線等でネットワークを構築	構築 (新規)	管理	管理	22年度に新たに構築	3.1
	辺地共聴施設整備補助事業 地上デジタルテレビ放送の難視聴地区解消のために 行う自主共聴施設の改修に対する補助	3地区 (終了)			22年度で終了	11.5

⑤ 親しまれる公園や河川にする

事業 区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H22事業費 (当初予算)
		H22	H23	H24		
市民	公園維持管理事業 公園の維持管理、公園愛護会の活動支援等	実施	実施	実施	地域住民との協働による取組を拡大	百万円 29.1
	風の松原管理事業 風の松原の案内板・遊具等の維持管理	管理	管理	管理	継続して管理	0.5
	能代河畔公園整備事業 運動施設・教養施設・休養施設・避難場所等の総合的な施設を備えた公園として整備	実施	実施	実施 (終了)	24年度で終了予定	46.8
	檜山川運河改修事業 準用河川檜山川運河の拡幅整備	3号橋 上部工等	2号橋 下部工	2号橋 上部工・築堤	継続して実施	49.9

政策(5)	安心でき健康を保てる医療体制
-------	----------------

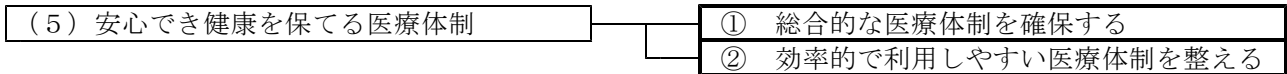
基本構想でめざす姿や状態

- 身近にかかりつけ医がいて、気軽に相談でき、必要なときに必要なサービスや高度な医療を受けられること。
- 身近にできる救命技能や献血などが、地域医療を支えること。

基本計画でめざす目標指標

指標	基準	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標 (平成29年度)	備考
身近なかかりつけ医を持っている市民の割合	66.2% (H19年度)	75.0%	85.0%	市民意識調査
身近なかかりつけ薬局を持っている市民の割合	51.0% (H19年度)	65.0%	75.0%	市民意識調査

施策の体系



実施事業の概要

① 総合的な医療体制を確保する

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H22事業費 (当初予算) 百万円
		H22	H23	H24		
	救急医療対策事業(広域負担金) 能代山本広域市町村圏組合で実施している休日・夜間医療の体制確保のための補助に負担	実施	実施	実施	継続して実施	15.4
重点	産科医等確保支援事業 山本組合総合病院において医師に支給する分娩手当への補助	支援	支援	支援	継続して実施	5.5
	放射線治療装置等導入費補助事業 山本組合総合病院で導入した放射線治療装置及び治療計画用CT装置への補助	補助	補助	補助 (終了)	24年度で終了	11.6
市民	献血推進事業 献血協力者及び事業所への協力要請等	実施	実施	実施	継続して実施	0.4

② 効率的で利用しやすい医療体制を整える

事業区分	事業名 事業内容	実施予定年度			事業の方向等	H22事業費 (当初予算) 百万円
		H22	H23	H24		
	福祉医療事業 乳幼児医療、高齢身障医療、重度身障医療、ひとり親家庭児童医療の自己負担への補助	実施	実施	実施	継続して実施	414.1
見直し	市立診療所運営事業 常盤診療所、檜山診療所、鶴形診療所、富根診療所の運営	運営	運営	運営	診療所のあり方を検討	6.2